

# 一羊会だより

発行  
 社会福祉法人一羊会  
 事務局 〒663-8241  
 西宮市津門大塚町1-47  
 電話 (0798) 31-1760  
 FAX (0798) 31-1763



今回の表紙を飾っていただいたのは、すずかけ第2作業所の頓宮護さん。  
 昼休みに作業所の玄関に置いてあるソファに腰かけてギターを爪弾き、  
 弾き語りをするのが頓宮さんの日課です。

あとりえずずかけが発行している「あとりえ新聞」が一羊会だよりにお引越し！  
 メンバー達が活躍している様子を今後もお伝えしていきます。

## 特集

- 事事業所紹介 カノン（放課後等デイサービス）…… 3
- あとりえ新聞 …………… 4
- クルージング&マリンフェスタ2019…………… 5
- 地域共生ページ・Boleh！ …………… 8



一羊会ホームページ  
 へはこちらから



## 継続は力なり、粘り強く

理事長 三浦 昇

いつも一羊会事業にご支援いただきありがとうございます。ごぞいます。

令和の時代になって早くも半年が過ぎました。振り返ると、平成の時代は、障害者施策が大きく変わった時代でした。平成元年のグループホームの制度化に始まり、平成5年には障害者基本法の施行、平成12年には成年後見制度の施行、平成15年には支援費制度の施行、翌年の発達障害者支援法の施行、平成18年に障害者自立支援法の施行及び国連での障害者権利条約が採択され、日本においてはその批准に向けて多くの権利擁護関係の法律が整備されてきました。平成25年には自立支援法を障害者総合支援法に改称、そして平成26年に障害者権利条約の批准がなされました。この間、障害者関連の多くの法律の制定、改正もなされ、これまでになく飛躍的に法制度が整備された事は大きな前進と受け止めています。

各事業を実践していく社会福祉法人の現場に目を向けてみると、とりわけ平成29年の社会福祉法人制度改革以降、その経営に関する課題として「ガバナンス、財務規律」「人材確保、育成、定着」「経営強化実践」「地域における公益的な取り組み」「中長期計画」といった項目が掲げられます。なかでも地域貢献の視点から、共生社会の実現に向けた社会福祉法人の連携、社会福祉法人連絡協議会の設立が各地で行われています。

西宮市においても社会福祉協議会が中心になって市内の社会福祉法人に呼びかけ、去る7月24日に西宮市社会福祉法人連絡協議会（ほっ

とかへんネット西宮）が設立されました。28法人が加入し、これからの取り組みを進めていく計画になっています。社会福祉法人として当該事業だけでなく、地域共生に向けた地域貢献的役割が求められています。

一羊会における大きな課題としては、人材確保定着が安定せず、事業展開が思うように進まず、結果として生活支援に係るニーズに応えられていない現状で、新たな地域貢献的な取り組みに具体的にどれだけ参画していけるかという事になります。

ここ数年一羊会の事業展開は壁にぶち当たり滞っています。現場主体の取り組みに期待するところではありますが、なかなかどうして実践には至っていません。

平成の時代の法制度の整備に伴い、現在は半ボランティア的位置づけから、職業としての障害福祉という価値観にとって代わり、社会的な位置づけも向上したと思いますが、実態は職員の定着率が下がり、なかなか前に進めない悩ましい事態になっています。

この現状の打開と、制度改革の流れの中で課せられた課題とのバランスをとって実践していく必要があります。

現場職員は日々の実践をしながら、職員確保や定着に向けて懸命に取り組んでくれています。この難局を早く乗り切りたいものです。

継続は力なり、のんき、根気、元気の精神で知恵を出し合い粘り強く、バランスよく取り組んでまいります。

引き続きご支援をお願いいたします。

## 事業所紹介 カノン(放課後等デイサービス)

### 「来てくれてありがとう！」

「すごいね！上手だね！」「がんばった！」「上手にできてるよ！大丈夫！」「楽しいね！よかったね！」「来てくれてありがとう！」。放課後等デイサービス・カノンの日常にはこんな声が溢れています。子どもが課題を頑張ったとき、約束ごとを守れたとき、学校の行事について報告してくれたときなど、理由はさまざまです。

成人の事業所から異動してきて私がまず初めに驚いたのがこんな言葉が溢れる光景でした。支援者に必要な心構えとして、「利用者さんのポジティブな側面を見つけ、それを認め・ほめることが大事」と習うものの、普段の中でそれを実践することがなかなか難しかった私にとってこの光景は衝撃です。どのスタッフもアルバイトさんもほめることが本当に上手で、それがまた自然なのです。カノンに来て2年が経とうとする今でも、私のほめ方は到底ほかのスタッフに及びません。イライラして物にあたってしまっても「ちゃんといけないことって自分でわかってるね」、そして落ち着いてきたときには「最後は自分で落ち着いたね。えらいね。」そうか！こんな風に伝えれば、どんなできごとでも成功体験にできるのか！

ああ、これがきっと支援の本当のあるべき形なのだな、とそんな場面を見るたび思います。そして実感するのは、ほめられた子どものうれしさや笑顔、それを伝えた側も良い気持ちになること、そして周りでそれを聞いている私まで幸せにできるパワー。ほめること、それを伝えることの力をまざまざと感じます。支援に限らず人と人とのかわりにおいて一番必要なことはこれなのだを再確認します。

「カノンのスタッフは、“それは怒った方がいいんじゃないの？”と思うことで怒らないのよ」。いつか、アルバイトさんが言っていた言葉ですが、カノンの自然なポリシーはまさにこの言葉に集約されているのかもしれない。

もちろん、何も準備をせずにこんな日常が作られているわけではありません。前回の利用の様子を振り返りながら、今日うまく取り組めるように課題の種類や量を変えてみようとか、来てまず休んでからのほうがやる気ができるかな、といった事前の準備は怠りません。そのうえでの「よくできたね！」なのです。

日々成長する多感なこの時期だからこそ、ポジティブな気持ちにたくさん触れて吸収して大きくなってほしい。自己肯定感や達成感、できたという自信がその人の人生を支える礎になる。それを築く手助けを少しでもできたら。そんな願いを込めながら、子どもの顔を思い浮かべ準備をして今日も迎え入れます。

「来てくれてありがとう！」

カノン 課長 伊藤 俊治



# あとリエ すずかけ 新聞

第18便 2019. 12  
撮影／編集：神田 浩平

**阪** 急伊丹駅からほど近くの閑静な住宅街に「CHAIR」という素敵なカフェがあります。こちらのカフェではあとリエすずかけの商品やすずかけクッキーなどを置いて販売してくださっています。

そんな「CHAIR」さんに、この秋、ハロウィーン出張ペイントと題して、あとリエすずかけのメンバーである小山充基さんが、ガラス絵を描きに行きました。

おしゃべりの大好きな小山さんですが、実は大の照れ屋さんでもあります。「CHAIR」さんのスタッフさん達を前にして初めは緊張した様子でした。しかし、みなさんが優しく声をかけて下さって、徐々に打ち解けていった小山さん。店の方達と楽しくコミュニケーションが取れたことで、ペンを握ってガラスと向かい合った頃には、気力十分といった表情に変わっていました。

小山さんの描くキャラクター達は「みつぷよ」と呼ばれ親しまれています。

危険な肉食動物や巨大な乗り物や建造物、出会ったばかりの人や親しい人達、何を描いてもゆるくて可愛らしく、それでいて少しだけ悪そうな雰囲気が漂うのが魅力です。



そんな「みつぷよ」達が「CHAIR」さんの扉ガラスに身を寄せ合う様にしてひとつひとつ描かれていきました。

帰りの車中では「自信になった」と話していた小山さん。「CHAIR」さんの皆さんのことも大好きになった様で、その後のあとリエ活動の際にもよく話題にのぼるようになりました。

ハロウィーンの子供達、小山さんの描いたみつぷよ達は、「CHAIR」さんに訪れたお客さん達からも好評を頂いた様です。



## 「あとリエすずかけのお話会」

2019年10月19日に「Book Cafe Door」さんにて、あとリエすずかけのお話会が行われました。普段の活動の様子やメンバーの皆さんのこと、作品や商品のことなどを、あとリエすずかけ職員から集まってくくださったお客さんたちにお話することができました。お客さんの中には、知的しょうがいを持つ方達と関わることにとても興味を持たれ、何か自分にもできることはないかと、真剣に質問をしてくださる方もおられました。自分達が普段行っている活動や実践していることを、外部の方に直接お伝えする機会の大事さを改めて感じたイベントとなりました。



## 西宮ロータリークラブのクルージング

2019年10月24日、西宮ロータリークラブさんのご厚意で今年もクルージングに招待していただきました。

すずかけ作業所、すずかけ第2作業所、上甲子園すずかけ作業所の利用者、職員合わせて計20名がクルーザーに乗船。雨まじりの天候でしたが、日常からは少し離れた東の間の海上遊覧を楽しみました。

予想以上の船のスピード感に驚いていた利用者の方もいましたが、次第に慣れた様子で途中からは風景を楽しむ余裕も。雨や水が大好きな利用者の方もおられ、その方は終始満面の笑みを浮かべていました。操縦席に座らせてもらって船の舵輪を握らせてもらった利用者の方々は皆さん一様に嬉しそうな表情でした。

素敵な体験をさせてくださった西宮ロータリークラブの皆様、どうもありがとうございました。



## 西宮浜マリンフェスタ2019

2019年10月20日、晴天の中開催された「西宮浜マリンフェスタ2019」にすずかけ第2作業所の皆さんが参加されました。すずかけ第2作業所が出店したカレー屋は、昼過ぎには売り切れてしまうほど盛況ぶり。作業所の厨房で作られた美味しいカレーの匂いに誘われて、たくさんの方が買ってくださいました。

利用者の皆さんは、午前、午後と2部に別れての参加となりました。会場にはフードの店がたくさん出ており、みなさんそれぞれ出店に並んで好きなものをご購入されていました。巨大フランクフルトにピザに焼きそば、中にはA5ランクの和牛ステーキを食べておられた方も！

会場のステージでは、アイドルグループのライブや、ジャグリングなどのパフォーマンスなどが行われており、椅子に座ってステージの様子を楽しむ利用者の方もおられました。汗ばむような陽気と祭の熱気に包まれた会場で、みなさん思い思いの時間を過ごされていました。



## ありがとうございました 寄贈のお礼

### ● 一般財団法人 高友福祉積善会様 ●

一羊園に助成金を頂き、昇降運動器具を購入いたしました。こちらの昇降運動器具のおかげで、ご本人も支援者も、安心して階段の上り下りの運動に取り組むことが出来るようになりました。一羊園を利用される皆様の元気な日々を支えていくために、大切に使用させて頂きたく思っています。ありがとうございました。



すずかけ作業所に助成金を頂き、介助用の椅子を6脚とレバーやクッションなどのオプション品を購入いたしました。この椅子は座面が回転・スライドし、余計な動きや力を入れる必要がなく、スムーズな立ち座りを実現できるようになりました。



### ● 一般財団法人 長谷川福祉会様 ●

すずかけ第2作業所に助成金を頂き、食堂の椅子21脚と机6台を購入いたしました。こちらの椅子や机は高さ調整ができるようになっており、利用者一人ひとりがより正しい食事時の姿勢を保つことが出来るようになりました。ありがとうございました。



### ● 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団様 ●

武庫川すずかけ作業所に助成金を頂き、新しい温水ヒーターを購入いたしました。これまでのヒーターは、たびたび故障していたので、新しいヒーターの購入で故障の心配も少なくなり、以前のものに比べてお湯になるスピードが速いので助かっています。ありがとうございました。



## 法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2019年7月1日～2019年10月31日

## \*法人

一羊会後援会 匿名 三浦昇(2件) 4件

## \*一羊園

森野和雄 天野朗代 田中美英子 梅澤茂樹 簾編宗秋 公原 功 岡田宏之 笹川利彦  
北村典子 山口 苑 宮崎龍雄 中島一敏 脇田捷也 一般財団法人高友福祉積善会  
濱 伸子 芝 桂子 矢萩祐子 17件

## \*すずかけ作業所

石川 池田町住宅管理運営委員会 すずかけ作業所保護者会 一般財団法人高友福祉積善会 4件

## \*すずかけ労働センター

北原てる子 1件

## \*武庫川すずかけ作業所

平野弘子(4件) 匿名 5件

## \*上甲子園すずかけ作業所

上甲子園すずかけ作業所保護者会 山本加津美 2件

## 2019年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2019年7月1日～11月13日)

## \*法人団体の部

(株)新井組 大関(株) (株)岡崎石材店 (宗)海清寺 甲山大師 神呪寺 (株)ケージークレセント 高田上谷医院  
ツムギ住研(株) 西宮市民踊協会 YOU・ゆう高木婦人会 阪神園芸(株) 日高歯科医院 (株)メックテクニカ  
夙川地区民生委員児童委員協議会 西宮浜産業団地協議会 税理士法人 丸岡&パートナーズ 16件

## \*個人の部

伊藤節子 小川加代子 大前繁雄 大目修平 大山浩 緒方満智 奥嶋育子  
小椋朝夫 長部文治郎 唐沢文子 川上隆弘 北川泰寿 久保田晴子 栗原裕実  
車田光子 小林義典 近藤真由美 四方勝 千翔有峰 高野重子 高林恵子  
滝川千津子 瀧川秀樹 嶽保広 田中京子 谷寿夫 谷口雄大 谷矢吉夫  
椿本和雄 富本隆介 中村絢子 浜田良子 日高昭夫 福田百合子 堀江史子  
松枝千尋 三原まゆみ 森田順 森野和雄 八木春作 山口苑 山本加津美  
横山潤・正代 吉田幾久世 吉野千栄子 北村伸一(2口) 笹川利彦(2口) 田中美英子(2口) 寺尾郁子(2口)  
吉村武代(2口) すずかけ労働センター保護者会 武庫川すずかけ作業所保護者会 52件

## 2019年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2019年7月1日～11月13日)

## \*法人団体の部

トータルマナー(株) (一社)西宮市手をつなぐ育成会 2件

## \*個人の部

青木純子 飯田喜美子 井上尚子 浦山亜紀世 大目修平 小川加代子 小椋朝夫 唐沢文子  
川上隆弘 北村伸一 木村清一 久保田晴子 黒木真弓  
近藤真由美 柴田美子 高谷知子 竹内瞳 谷矢吉夫  
寺尾郁子 中島一敏 中谷美津子 中村栄子 西真弓  
藤本美保子 宮脇葉子 森野和雄 山口苑 山本加津美  
吉田幾久世 渡邊絹子 30件口座名義 一羊会後援会  
【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061  
【郵便振替口座】01190-8-66322

## お知らせ

- ・毎年実施していました「十日戎募金」は2019年をもって終了し、今後は募金箱を設置する形で皆さまからのご支援を賜りたいと思います。現在募金箱作成中ですが、出来上がり次第設置してまいります。
  - ・後援会の会費・寄付金の「払込取扱票」の記載内容を変更しました。お手数をおかけしますがお手続きの際は必要事項をご記入くださいませ。
- また、払込取扱票の受領証をもって後援会の受領証とさせていただきます。別途受領証が必要な場合はお申し出ください。

## 西宮今津高校ボランティア部の 皆さんと一緒に避難訓練

マレーシア語で「できる」を意味する Boleh (ボレ)。地域共生をテーマとし、このページでは一羊会と地域の皆様方とのつながりをお伝えできたらと思っています。

今回紹介させて頂くのは10月に武庫川すすかけ作業所で行われた津波の避難訓練についてです。作業所では定期的に避難訓練を実施しているのですが、今回は外部からゲストを招いたスペシャルな訓練でした。参加して下さったのは、西宮今津高校のボランティア部の皆さん、そして作業所近くにあるデイサービスセンター「さくらのみやこ」のスタッフの皆さんです。

今津高校の皆さんは、以前から武庫川すすかけ作業所とつながりがあり、何度か作業所に来て下さっています。利用者の方の中には、学生さん達を覚えておられる方もいて、嬉しそうにコミュニケーションをとっていました。

そんな和やかムードの中、津波の避難訓練が始まりました。真剣な表情で作業所職員の指示に耳を傾ける学生さん達。自力で歩ける方は、学生さんに付き添ってもらって階段を上り、作業所の1階から3階を目指します。車椅子の利用者の方は、学生さんや職員が車椅子を持ち上げて階段を上りました。火災と違って津波避難の場合は上に逃げなければならないので大変です。そんな中、学生さん達の若い力に助けられ、無事に皆さん避難することが出来ました。

車椅子を持ち上げることの難しさ、実際に利用者の方が上に乗っているため緊張したこと、不安に感じている利用者の方に落ち着いてもらうにはどうしたらいいのか、訓練後に行った振り返りの会では、学生さん達から素晴らしい意見や感想がたくさん出ました。日頃からよく勉強されていて色々な経験をされているのだなと感じました。

災害に直面した時、互いに助け合える、そういったつながりを普段から築くことが災害に対する大きな備えになるはずですよ。

訓練を共にして下さった今津高校ボランティア部の皆さん、さくらのみやこのスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。



編集部より

今年度は地域共生ページ「Boleh」を新連載するなどいろいろ工夫を凝らした紙面作りをしています。読者の皆様にさらに興味を持って読んでいただける「一羊会だより」となる様、編集部では読者の皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

ご意見・ご感想を送っていただいた方の中から抽選で5名様にすすかけクッキーをプレゼントいたします。

はがき、FAX、メールのいずれかで「一羊会だより編集部」宛で送ってください。

住所：〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47 FAX 0798-31-1763

メール：jimukyoku2@ichiyou-kai.or.jp 編集部一同、皆様の声をお待ちしております！